

# 「恋人の聖地」観光名所へ

## 一里野温泉 公園にカメラ台設置

「恋人の聖地」に指定されている白山市尾添の白山一里野温泉で、聖地にある。十二日は撮影用の携帯電話やカメラを置く台が設けられ、愛らしいオブジェとの記念撮影がしやすくなった。（谷口大河）



記念撮影用の台の位置を確かめる山崎太一朗副会長（左）いずれも白山市尾添で

地元の白山一里野温泉観光協会が企画し整備した。オブジェはキスしているような構図の男の子と女の子をデザインした石製。五月下旬から白山一里野公園入り口のカッパルベンチ前に置かれている。

台は高さ約七十センチのコンクリート製。角度調整が可能で、タイマーなどを活用すれば、機器を手に持つより安定した状態で写真が撮れる。山崎太一朗副会長は

「恋人や夫婦の思い出づくりに活用して、愛を深めてもらえたら」と話す。

今年白山開山千三百年と白山一里野温泉開湯四十周年の節目になる。協会は公園近くにある白山開祖・泰澄大師の石像の周辺整備も進め、像の前にあった松の木を伐採し、地面をコンクリートで固めている。

石像は土台高め高さ約六メートルで、一九八〇（昭和五十五年）ごろ建立されたが、近年は木に隠れて見えづらかったという。「恋人の聖地」オブジェとともに観光資源としてPRする。

## 泰澄大師石像周辺を整備



松の木が伐採され、見やすくなった泰澄大師の石像